



下仁田中学校だより

【教育目標】

みんなで目指す生徒の姿

- 愛する：考えや思いを伝え合い、聴き合う生徒
人とのかかわりやつながりを大切にする生徒
- 考える：自らより良くしようと考える生徒
- 行 う：粘り強く最後までやり抜く生徒
新たなことに挑戦する生徒



下中webページをご覧ください
令和6年4月26日発行
第2号
発行者 校長 山田知利

生徒主体の新入生オリエンテーション及び新入生部活動オリエンテーション

4月9日（火）に、新入生歓迎オリエンテーションを行いました。生徒会本部役員の生徒が、学校生活（勉強、生活、学校行事、部活動など）のことをわかりやすく伝えてくれました。また、各専門委員会の代表生徒が委員会の活動内容などを紹介してくれました。そして、4月10日（水）に部活動オリエンテーションを行いました。各部活の2、3年生が、新入生に部活動の様子を工夫して伝えてくれました。みんなでとても楽しく盛り上がった時間となりました。どちらも1年生のことを考えた、2、3年生による素晴らしい活動でした。



全国学力・学習状況調査が行われました

4月17日（水）と18日（木）に、全国学力・学習状況調査が実施されました。対象は中学3年生で、今、子供たちに身に付けてほしい力、求められている力が問題として出題されました。目的は、学校における生徒への指導の充実を図ったり、学習状況等の改善等に役立てたりすることです。17日にはオンラインで生徒質問紙調査が行われ、18日には国語と数学の調査が行われました。3年生の生徒たちは真剣に、そして時間いっぱいあきらめずに取り組んでいました。



避難訓練を実施しました

4月19日（金）4時間目に、避難訓練を行いました。緊急地震速報に基づいた地震、そして火災が発生したケースを想定したものです。緊急地震速報の放送が流れると、生徒たちは机の下に素早く入って頭や体をしっかり守っていました。校庭への避難は、おしゃべりなく、みんな真剣に取り組んでいました。よりよく避難しようという気持ちが表れていた避難訓練でした。



併設型小中一貫校に向けての準備会がスタート

4月15日（月）、第1回併設型小中一貫校準備会が行われました。里見立夫教育長様はじめ町教委の皆様、小中学校の教職員が一堂に会し、はじめに一貫校専門アドバイザーの矢島正様からお話を聞いて学びました。続いて、小中教職員が「学校生活の充実を図る分科会」と「豊かな学びを創造する分科会」に分かれて顔合わせや話し合いを行いました。



生徒と職員でつくった『みんなで目指す生徒の姿』の実現を目指します!

生徒のより良い成長のために、生徒が考え、生徒が決めて、生徒が行う「生徒の主体性を育む学校」づくりを通して、生徒と職員でつくった『みんなで目指す生徒の姿』の実現を目指して取り組んで参ります。ご理解、ご協力を、どうぞよろしくお願い致します。

令和6年度 学校経営方針

1 下仁田町で目指す児童生徒

自主的な小学生 自律した中学生

2 教育目標及び『みんなで目指す生徒の姿』

- 【愛する】 思いや考えを伝え合い、聴き合う生徒
人とかかわりやつながりを大切にする生徒
- 【考える】 自らよりよくしようと考える生徒
- 【行う】 粘り強くやり抜く生徒
新たなことに挑戦する生徒

3 目指す学校像

生徒の主体性を育む下仁田中学校

4 目指す職員像

思いや考えを伝え合い、聴き合う教職員
人とかかわりやつながりを大切にする教職員
自らよりよくしようと考える教職員
粘り強く最後までやり抜く教職員
新たなことに挑戦する教職員

5 学校経営方針

《基本方針》

「学校は生徒が社会の中でよりよく生きていける力をつけるためにある。」という認識のもと、生徒の主体性を育む教育活動を展開し、生徒と教師の願いや思いから決めた『みんなで目指す生徒の姿』の実現を目指します。

【今年度の主な取組】

- 生徒の主体性を育むために、生徒が考え、生徒が決めて、生徒が行う機会を積極的に設けます。また、生徒への言葉かけやかかわりなどの支援を工夫します。
- 『みんなで目指す生徒の姿』を実現するために、目的や場面に応じて、高めたい姿を生徒と職員がともに意識して授業や活動を行います。
- 職員が心身ともに健康で生徒に向き合うことができるようにするために、全職員で業務改善を積極的に推進します。
- 生徒や職員の安全を確保するために、危機管理マニュアルの活用・見直しを図ります。
- 併設型小中一貫校への移行に向けて、小学校職員等と話し合いを重ね準備を進めていきます。
- 『探究的で、協同的な学び』による生徒を主体にした授業づくりを行います。
- 生徒の主体性や自己肯定感、自己有用感を高めるために、全職員で「みんなで目指す生徒の姿」に係る生徒の「いいところ探し」を継続して行います。
- 生徒がそれぞれの夢や目標に向かって主体的に、粘り強く努力することができるようにするために、キャリア教育を計画的に行います。
- いじめ防止等を図るために、生徒主体の取組を工夫します。また、生徒指導部会、教育相談部会等を有効に活用し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と積極的に連携して、組織的に困り感を抱えている生徒の理解及び対応の充実を図ります。
- デジタル社会の中で生徒が自分で考え、責任をもって行動できるようにする力を育むために、計画的にデジタルシチズンシップ教育を行います。
- 健康の自己管理能力を高めるために、生徒主体の保健指導の充実を図るとともに、家庭と連携してメディアの使い方や健康的な生活習慣づくりに関する支援を継続します。



※紙面の都合上、5月の予定につきましては、本校 Web ページをご覧ください。